

創立134周年記念 作新祭 ポスター原画の作成に寄せて

情報科学部美術デザイン科2年1組 鮎渕 茜里（ますぶち せんり）

今年度の作新祭テーマである「まっさらな時代に たゆみなき未来を拓け」に合わせて、万年筆を持った女子生徒の周りに、何も描かれていない白い紙がたくさん舞っているデザインを考えました。

女子生徒が持っている万年筆は、作新生の胸に輝くエンブレムでも「文」の象徴とされているモチーフです。

令和という新しい時代に入りました。若い私たちは、これからもたくさん学び、考え、行動していきます。未知・未開の領域もまだまだたくさんありますが、皆さんはどんな色で、どんなデザインを描いていきますか？

可能性は無限大。そして一人ひとり自由な書き込みのできる人生が広がっていきます。

私は、これから始まる作新生たちの明るい未来を想いながら、この絵を描きました。この絵をご覧になった多くの皆さん、明るく元気な気持ちになられ、自分色の、自分らしい人生設計が書き込まれることに少しでも役立てるのであれば、これ以上嬉しいことはありません。

創立134周年記念 作新祭 パンフレット表紙絵の作成に寄せて

トップ英進部2年1組 矢野 杏佳（きょうか）（宇大附属中学校出身）

スケッチブックには、作新学院のシンボルであるアカデミア・ラボが雲の上から見下ろす形で描かれています。青と緑の筆は、それぞれトップ英進部・英進部と情報科学部の、赤い鳥は総合進学部の制服カラーを表現しています。また、スケッチブックが置かれている机の色は、冬服のシンボルカラーであるキャメルです。

今年度の作新祭テーマ「まっさらな時代に たゆみなき未来を拓け」にもとづき、作新学院から飛び立っていく鳥たちを描くことで、新たな時代に飛び込んでいく作新生の姿を表しています。作新祭のメイン会場であるグラウンドに描かれた『虹』は、『多様な個性の集合体』を象徴しています。

スケッチブックの中にも外にも、私たちのまだ見ぬ未来が広がっています。机の上に羽が1枚あるように、鳥たちは無事に外の世界に飛び立っていったはずです。

作新祭の成功のみならず、作新生の未来の活躍を祈ってこの作品を描きました。この絵が、作新生の気持ちを盛り上げる一助となれば幸いです。